

兵庫保険医新聞

第1964号

2021年2月5日

発行所 兵庫県保険医協会

http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801

(1部350円送料共・年間購読料12,000円)

振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

第38回在宅医療研究会に150人が参加

「看取られる側」から伝えたい緩和ケア

医療者に求められる緩和ケアとは――。協会地域医療部は1月14日、がん患者への在宅緩和ケアに取り組む灘区・関本クリニックの関本剛先生を講師に、第38回在宅医療研究会「地域での緩和ケア」緩和ケア医の終活とアドバンスケアプランニング」を開催。これまでの在宅ホスピスの経験とともに、余命2年の肺がんと診断された自身が「看取られる側」になった体験を語った。来場とオンライン視聴を合わせ、医師・看護師・薬剤師・ケアマネージャーなど150人が参加した。

関本先生は、2019年10月にStageⅣの肺がんを宣告を受けた以降も、抗がん治療を受けながら「地域緩和ケア医」としての業務を継続している。



がんと診断された緩和ケア医・関本剛先生（右）が、自らの体験をもとに患者との接し方を解説した



訪問診療や拠点病院での回診業務に従事し、地域での病診連携・診診連携の円滑化にも取り組んでいる。これまでの緩和ケア医としての「看取る側」の経験と、「看取られる側」となって初めて感じた体験の両方を還元したいとの思いから、単著『がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方』（2020年8月宝島社）を出版。メディアにもたびたび登場している。

関本先生は、余命宣告されて以降の自分や家族の苦悩と葛藤も紹介しながら、人生会議（ACP・アドバンス ケア プランニング）の意義を説明。「進行がん患者は死亡前1カ月以内ADLが急低下することが多いが、そこから話し合いを始めてもできることは限られる。医療者は患者の体調が比較的良好な時期から話し合いをしておく方がよい」と強調した。

また、自らが患者となつて以降、「残りの時間で遂行しておきたいこと」として書き出した『棺桶リスト』のエピソードを披露して、「自身自身の『いざというとき』に備えて、大切な人と、できれば医療者も交えて、それぞれの人生を振り返りながら『して欲しいこと』『して欲しくないこと』『なぜそう思うのか』などを話し合う機会をつくりましょう」と呼びかけた。

市営住宅アスベスト見落とし問題 再発防止策の提示なし

神戸市が再調査結果を説明

神戸市中央区の市営住宅下手山4号棟の解体工事をめぐり、神戸市が危険性の高いアスベストを見落とし、協会の指摘で発覚した問題で1月19日、神戸市はアスベストの再調査結果について協会に説明を行った。



神戸市の説明会に臨む（左から）森岡副理事長、武村副理事長、上田評議員

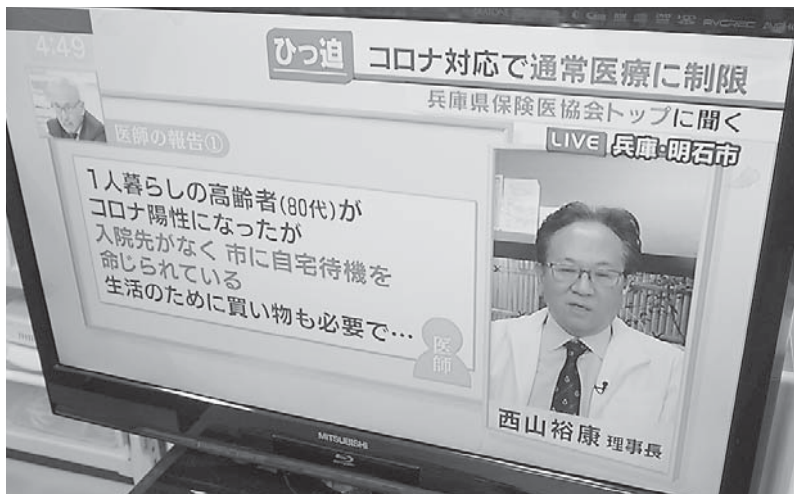
されたが不検出となった箇所もあるが、すべて含有として取り扱う方針だと説明した。しかし、調査結果がなぜ異なるのかについての十分な説明はなされなかった。

協会が再三にわたり改善を求めていた住民説明会の案内範囲についても、新たに建てる建物の高さである41mという、まったく関係ない数字を再び持ち出して、対象を限定するなど、今回の件を真摯に反省する態度が見られないものであった。

協会は今後、400棟を超える市営住宅の解体が計画されているなか、今回の件を教訓化し再発防止策を講じる必要があるとして、環境局や住民代表、専門家が入った検討委員会の立ち上げなどを求める要望書を提出するなど、働きかけを続けていく。

「通常医療がひっ迫」TVで訴え

西山理事長がMBS「ミント！」に生出演



医療現場の実態を西山理事長が説明

協会西山裕康理事長が1月25日、MBSの報道・情報番組「ミント！」に生出演。新型コロナウイルス禍で神戸市内の病床が逼迫している現状を、「80歳以上は搬送しないことが暗黙の了解だと言われた」「救急で発熱患者を受け入れると、PCR陰性が判明するまで他の受け入れ要請を断らざるを得ない」などの会員の声とともに訴えた。

コロナ関連補助金等 確定申告のご案内

新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金に関して、確定申告が必要となる項目がありますので、留意点をご案内します。

確定申告が必要

・兵庫県中小企業事業再開支援事業、感染拡大防止支援事業

→「支給決定時または経費発生時」(※)に収入(事業所得)として算入します(消費税不課税)(法人税も同様)

※入金を前提に、助成金等の支給対象となる経費が発生した時に収入計上します(固定資産に該当する物品が入っている場合も、補助金の総額を算入します)

・持続化給付金、家賃支援給付金

→支給決定時に収入(事業所得)として算入します(消費税不課税)(法人税についても同様)

・雇用調整助成金

→「支給決定時または経費発生時」(※)に収入(事業所得)として算入します(消費税不課税)(法人税も同様)

※休業した日の属する年分において、金額が確定しない場合もその金額を見積り、収入(事業所得)に算入します

確定申告が不要

・特別定額給付金、医療従事者慰労金

→非課税(確定申告は不要。職員分の慰労金は源泉徴収しない)

国税庁FAQより。詳細は次号、「確定申告の留意点」に掲載します

燭心

今年の節分は例年と異なり2月2日であった。節分は立春の前日であるが、これは、1

年の始まりを、冬から春になる立春の日としていたため、節分は今で言うところの大晦日のことである▼1日ずれるのは、1年が365日と6時間弱であったためらしい。4年に一度、閏年として補正しているが、少しずれてしまふのである。紀元前のシーザー時代に、すでにこのことは分かっていたらしい。精密な機器もない時代、毎日毎日の観察の結果か、まさに驚異的である▼現実をよく観察せず、邪心でものを言う、後々大変なことになるものである。東京オリンピック招致に際して「福島原発の汚染水はコントロール下にある」、コロナ禍では「GOTOキャンペーンで感染が拡大した」というエビデンスはない」と。いずれもわが国の政治の最高責任者の発言である▼コロナ禍は新自由主義の弊害を一気に露呈させた。イスラエルの歴史学者・ハハリ氏曰く、「敵はウイルスそのものでなく、我々の心に住む『悪魔』である」。強欲に儲けを求める新自由主義と決別し、新しい社会へ踏み出したい▼さて節分には、1300年も前より「追儺」という鬼払いの儀式が行われている。今では、豆まきや恵方巻きとして定着しているが、今年は緊急事態のため「豆まき」が中止となったところが多かった。新型コロナウイルスはもちろんだが、対策が後手後手に回っているわが国の今の政治にも、思い切り力を込めて豆をぶっつけたものである。(無)

地域医療研究会「新型コロナ禍での感染対策」

職員を守り、患者を守ろう

協会は11月21日、新型コロナ、感染拡大が見込まれる冬を前に、患者への診療応需態勢確保について考えるため、地域医療研究会「新型コロナ禍での感染対策の取り組み」を開催し、会場・オンライン合わせて65人が参加した。外来、在宅、訪問看護それぞれの立場から、感染対策の取り組みや工夫・経験、苦労話などを報告し、参加者と意見交換した。

野村医院（尼崎市）理事長の檜垣一行先生は、入口や受付、診察室、処置室、職員出入口など、自院で実施している感染経路ごとの掲示や換



医療機関や介護施設などでの感染対策の工夫をそれぞれ発表した

在宅医療に力を入れている、おかむらクリニック（西宮市）院長の岡村新一先生は、オンラインを活用した医療・介護連携などコロナ禍での在宅医療の取り組みや工夫などを報告。新型コロナへの長期にわたる感染対策から、毎日のクールダウンや長時間勤務の回避、連休取得への配慮など、「持続的過労状態」を避けるための具体的な

取り組みが大切だと紹介。「完璧」「最善」な感染対策は困難だが、「最善を自問することは、たぶん可能」だとし、早急に答えの出せない問題に対し、患者家族とともに考え続けるよう訴えた。

西宮市訪問看護センターの山崎和代氏は、新型コロナ禍で訪問看護においても、個人防護具が不足していることや、病院で面会謝絶となつたために退院指導が行われないまま重症患者が在宅療養を始めざるを得なかった実態などを報告。看護協会として、リモートでの対応を報酬で評価

することや、高齢者がタブレットを活用できるための支援、訪問看護にかかる課題を解決し地域での訪問看護提供体制の安定化・支援を図る「訪問看護支援センター」開設支援などを県に要望したことを紹介した。

司会を務めた、はせがわ内科（尼崎市）院長の長谷川吉昭先生は、各報告を踏まえ、「感染対策によって職員が安心する環境を作ること、来院者と職員が安心する環境が作られる」として、「協力しあって新型コロナの大波を乗り切る」と呼びかけた。

投稿 第二生理学教室の 恩師・先輩（上）

灘区 岡本 好司

理学部数学科を中退して、医学部を受けなおしたのは、フロイトの日本語訳を読んで感銘を受け、今言う心療内科を学んでみたいと考えたからである。

医学部に入って、深層心理と疾患との関係を研究してい

コロナ流行時に発熱患者に限りオンライン診療を認める

初診からのオンライン診療をすべて恒久化

総合診療科

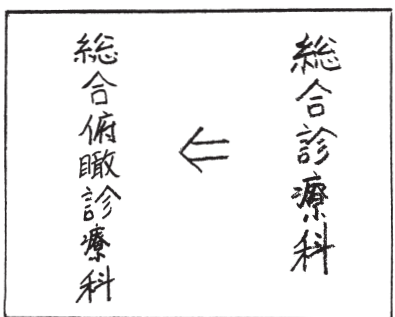
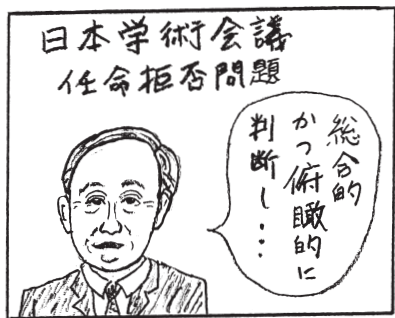
総合俯瞰診療科

投稿 会員

ホイホイ漫画⑪

長田区 ぼん太with T.T.

便利



コロナシクズシ



科（尼崎市）院長の長谷川吉昭先生は、各報告を踏まえ、「感染対策によって職員が安心する環境を作ること、来院者と職員が安心する環境が作られる」として、「協力しあって新型コロナの大波を乗り切る」と呼びかけた。

須田教授は、最先端の医学、工学に関する情報に詳しく、後年90近くになられても、外国から最先端の本を取り寄せられ、一晩で300ページを読破され、内容を説明していただいたことがあった。先生から、入局当初サイバネティクス（サイバネティクス）の講義を受けたことが、心身医学へのヒントになった。

門下生には秀才が居並び、後日、大学教授が続出した。その中の一人のもう亡くなられた浅沼宏博士（元ロックフェラー大学生理学教授）に感賞領と運動領との連絡に脳梁

がどのように関与しているかの研究についてのご指導を賜わった。

中でも出浦滋之博士（岐阜大学名誉教授）に格別にお世話になっている。脳の生理、解剖に関する最新の知識を伝授していただき、今日もまだなお続いている。この先生がおられなければ、今日の私はない。この先生、いまだに最新の情報をくまなく調べておられ、生き字引のような方である。最新の外国書もあつた。言う間に読破され、丁寧に分かりやすく説明してくださる。馬鹿げた質問でも「お前そんなことも知らないのか」とは言わずに丁寧に説明してくださる。ノーベル化学賞の話でも分かりやすく丁寧に説明していただける。歳を感じさせない若さがある不思議なお方である。（つつく）

世界的に注目されるウイルス感染症

歯科定例研究会

日時 2月21日(日) 14時～17時 会場 協会5階会議室
講師 大阪大学歯学部・大学院歯学研究科口腔細菌学教室教授 川端重忠先生
状況次第でZoomでの講演に変更となる場合があります。Zoom視聴希望者はysng@doc-net.or.jpへ、メール件名「2/21歯科定例研Zoom視聴希望」、本文に①医療機関名②参加者氏名③電話番号④職種を記載し、19日までに送信。会場参加（定員80人）希望者は、☎078-393-1809まで

支部の催物案内

■北播支部■医療安全管理研修会

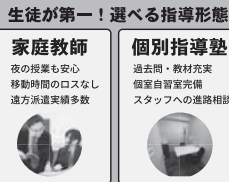
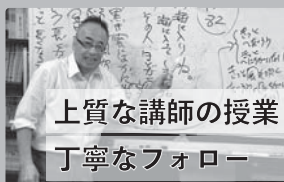
「外来で知っておきたい院内感染対策の基礎知識 ～標準予防策と感染経路別予防策～」
日時 2月20日(土) 14時～15時30分
会場 小野市うるおい交流館エクラ2階中会議室
講師 北播磨総合医療センター看護部次長 感染管理認定看護師 高橋尚子氏
参加費 1000円（受講証を発行）
定員 30人
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1801まで

税経個別相談会

日時 2月14日(日)・21日(日)
会場 協会会議室
※いずれかの日程の13時～16時でご都合のよい時間帯（1時間）をお選びください。
1回・1時間5000円（医院経営研究会会員は年2回まで無料）
事前予約制(各相談日の3日前まで)

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

医学部受験 MEP



今月のワンポイントアドバイス
コロナ禍での中学受験結果
詳細は MEP 特集記事へ https://www.mep-jp.com/blog/advice

まずはお問い合わせください
～個別相談 実施中～
06-4309-6515
FAX 06-4309-6520

https://www.mep-jp.com
info@mep-jp.com
twitter @MEP98195068
Line @638mpacy
YouTube 医学部受験 MEP



歯科定例研究会より

成功例ではわからない!! インプラントのトラブルは何故起こるのか? (下)

芦屋市・野阪口腔外科クリニック 院長 野阪 泰弘先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

(前号からのつづき)

補綴

- ①咬合平面の修正や対合歯の治療などは、1次手術までに行っておく。
- ②上部構造にはネジ止め法とセメントリング法の2種類がある。
- ③両者の長所と短所を患者に説明し、患者の理解が得られた方法を選択する。

ポイント

演者が上部構造を作製する場合は、メンテナンスが容易であることからネジ止め法で行っている。しかし、ネジ止め法ではアクセスホールが存在し、同部の審美性が問題になる。一方、インターネット上にはアクセスホールがない上部構造が掲載されているため、患者はイメージと違くとクレームを言う場合がある。したがって、ネジ止め法で上部構造を作製する場合は、初診時にネジ止め法について十分に説明し、患者の了承を得ておく必要がある。

メンテナンス

- ①口腔内の清掃が不良な場合は、あらかじめ指導と実践を続ける。
- ②インプラント周囲粘膜炎や周囲炎

は急激に進行する可能性があるため、先送りせずに早期に対処する。

- ③隣在歯の病変が、インプラント体の周囲骨に波及する場合がある。
- ④患者に自覚症状がなくても、6～12カ月おきにX線写真やCT画像でインプラント体の周囲骨を評価する。

ポイント

メンテナンス中に粘膜の腫脹や周囲骨の吸収が生じた場合、自然に治癒することはほとんどないため、早期に原因の究明と治療が必要である。患者に事実と治療方針を説明しなければ、患者との信頼関係は崩壊し、患者は他の施設を受診することになる。したがって、患者がアポイントに来院しないことは、経過が良好だからではなく、経過が不良のサインと考えるべきである。

抜歯窩が骨性治癒するとは限らない

演者の臨床データでは、541例の抜歯窩において、抜歯後6カ月が経過しても47例(8.7%)で抜歯窩にX線透過像が認められた(図2)。X線透過像部の病理組織学的診断では、線維性結合組織が27例(57.4%)、腐骨が17例(36.2%)であっ

た。

つまり、約8%の抜歯窩には、骨が再生されない可能性があると考えられる。また、好発部位は、下顎臼歯部が34例(72.4%)と上顎臼歯部12例(25.5%)で、臼歯部がほとんどであった。原因としては抜歯窩の血流不足が考えられ、抜歯前に存在している骨硬化像に注意する必要があると思われる。したがって、抜歯時に人工骨を抜歯窩に填入した場合、約8%の症例で十分な骨が形成されないリスクがあると考えられた。

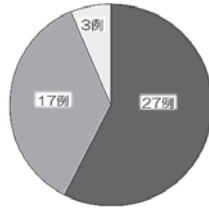
確証バイアス

現在、インプラント治療の適応拡大を目的として、さまざまな骨造成術が行われている。骨造成術では人工骨や遮断膜などの人工物が使用され、新製品が有用として紹介されている。一方で、注目を浴びた術式や製品が自然に消滅し、今は誰も見向きもしないことが数多く認められる。

つまり、トラブル症例や反証する論文を排除し、成功例と都合の良い論文のみを挙げて有用性をアピールする行為(確証バイアス)が問題と考えられる(図3)。歯科医師は、自然科学者である。したがって、さまざまな情報を理論的および客観的に評価する能力が重要で、情報を鵜呑みにすると大きなトラブルに巻き込まれる可能性がある。

抜歯後6カ月以上経過した抜歯窩にX線透過像を認めた症例

- ★対象: 541例
- ★症例: 47例(8.7%) 男性: 18例、女性: 29例
- ★年齢: 35～65歳、平均53.0歳



★部位: 下顎臼歯部: 34例(72.4%) 上顎臼歯部: 12例(25.5%) 上顎前歯部: 1例(2.1%)

図2 抜歯後6カ月以上経過した541例の抜歯窩に対して、CT画像で抜歯窩の骨再生を評価した。47例(8.7%)の抜歯窩にX線透過像が認められ、抜歯窩が必ず骨性治癒するとは限らないことが明らかになった

確証バイアス(先入観・偏見)

- ★反証や信念を検証する場合、支持する情報(論文)ばかりを集める。
- ★反証する情報を集めず、無視する。

10例未満の成功例で
本質を語るのは危険である

同じ術式と骨補填材を用いた50例以上において
5年以上経過したCT画像で検証する

論文を鵜呑みにしない → トリックを見抜く能力

図3 骨造成術に関する論文や講演などを評価する場合は、確証バイアスが存在するか否かが重要である。同じ術式と骨補填材を用いた50例以上において、5年以上経過したCT画像で検証されていれば信頼性が高いと思われる

まとめ

インプラント治療は、咀嚼能を飛躍的に向上させ、審美的にもある程度の満足が得られる画期的な補綴治療である。しかし、インプラント治療にはさまざまな落とし穴が存在するため、各ステップを着実に進めていくことが最も重要である。また、異物に対する生体の反応には未知の領域が多数存在し、いまだ発展途上であることを認識すべきで、確実な治療法を選択することがトラブルを回避する近道と思われる。

(2020年9月13日、歯科定例研究会より)

診療内容向上研究会 第571回

医療従事者として知っておきたい

肛門部の診療

日時 3月13日(土) 17時～

会場 協会5階会議室(※講師は来場せず現地からZoomによる講演となります。会員の先生方には可能な限りZoomによるオンライン視聴をお願いしておりますが、インターネット環境その他でZoom視聴が困難な場合はご来場ください)

講師 埼玉県所沢市・所沢肛門病院 院長 栗原 浩幸先生

共催 マルホ株式会社

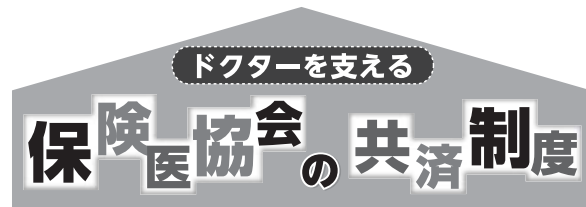
「日本人の半分は痔主である」というように、肛門疾患の罹患率が高い。肛門科医でなくとも医師をはじめとする医療従事者は、患者や知人などから相談を受けることも多いのではないだろうか。演者は一昨年、「かかりつけ医もここまで診よう! 肛門部外来診療マニュアル(南江堂)」という本を書き下ろした(右)。痔核、裂肛、痔瘻の3大肛門疾患に加え、皮膚疾患、炎症性腸疾患、骨盤底筋群脆弱による疾患など、日常診療で比較的多く見かける疾患や見落としとしてはならない疾患の診断と治療について述べた。本書は「かかりつけ医」だけでなく医療従事者であれば誰でも理解できる内容である。肛門疾患の種類は決して多くなく、診断も難しいものではない。本講演では本書に基づいて、医療従事者として知っておきたい肛門部の診療について、多くの写真を用いて解説する。 【栗原 記】



講師著書「かかりつけ医もここまで診よう! 肛門部外来診療マニュアル(南江堂)」

Zoom視聴のお申し込みは、yamakawa-t@doc-net.or.jpまで。メールの件名を「3月診内研Zoom視聴」にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号を記載の上、送信してください。

来場参加をご希望の方は、☎078-393-1840まで



✓中長期の資産形成に
保険医年金と積立年金DefLデフェル

✓新型コロナウイルス感染症に備えて
休業保障制度と所得補償保険

✓死亡・高度障害に
グループ保険と新グループ保険

✓医事紛争に備えて
医師賠償責任保険

✓天災や火災、新型コロナウイルス感染症による休業損害に
ビジネスキーパーの休業損害補償

✓三井住友海上あいおい生命の
医療保険とガン保険



http://www.hhk.jp

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

協会の共済はご加入
内容をまとめて管理。
ワンストップサービス
を提供します。

